GRILLE GARNISH
for クラウン クロスオーバー

純正比較

新生クラウンの第一弾モデルがクロスオーバー。車輌自体の素性は非常に高く、文句ナシにカッコイイ。しかし、歴代クラウンと比べると、高級感が薄い。その原因は単調なグリルにあると言われている。

大ヒット確定の専用グリルガーニッシュ

CROWN CROSSOVER
激変｜超ラグジュアリー

グリルガーニッシュ。そのたった一つのアフターパーツによって、クラウン クロスオーバーのイメージが激変する。これは価値がある。開発したのは新進気鋭のブランド・バンディエラだ。

BANDIERA / バンディエラ
tel.0790-22-6262　https://bandiera-project.com

商品特徴

繊細なクロームメッキによって、ラグジュアリーなムードを演出。クロームのトーンを少し落とし、ギラギラ感を僅かに抑えている。黒いベース部分は鏡面仕上げで、ピアノブラックの深みでも魅了する。

価格 14万8500円(税込)

イタリアのデザインが生む シャープさと上品さ

バンディエラのグリルガーニッシュが大きな話題になっている。デビューは今年の大阪オートメッセ。その直後から今に至るまで、想定していた以上の問い合わせが来ている。

デザインはイタリアの専門家に依頼。純正フロントバンパーをラボに輸送し、現物を目の前にしながら設計していく。

「クロスオーバーに足りないのは高級感。特にプラスチックの単調なグリルは……。歴代のクラウンが誇ってきたプレミアム性を取り戻すために、納得行くまで時間を掛けて開発しました」と製品開発部の竹田サン。

よりシャープに上品に。そのために採用したのがクロームメッキだ。このグリルガーニッシュは二重構造になっている。光輝くクローム部分、黒いベース部分、パーツはその2つに分かれており、裏側から72本の小さなネジで合体している。

「クロームメッキの存在によって、圧倒的な高級感を手に入れました。ダイヤ柄や両サイドの形状も純正とは変更し、顔付きに鋭さも与えています」。

純正写真と見比べると、特に陰影が桁違いに増している。これは写真の撮り方の違いで、こう見えるのではない。黒いベース部分に仕掛けがあるのだ。

「実は黒いベース部分には、クロームメッキ部分と同様のダイヤ柄を彫り込んでいるんです。単なる平面ではなく、そうすることで物理的に奥行きが生まれる。光が入る面積が増え、こんな風に立体的に輝くんです」。

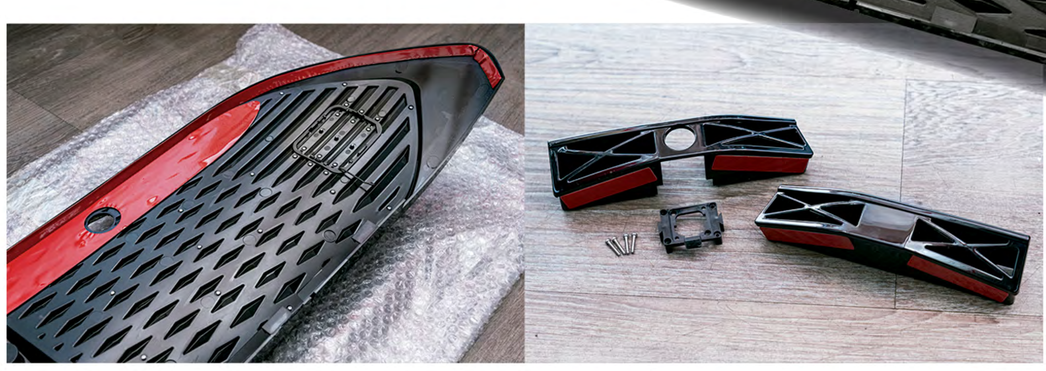
言わずと知れた芸術の国・イタリア。だからこそ、生み出された超ラグジュアリー。そこに日本ならではの製品クオリティも加わり、唯一無二のグリルガーニッシュが完成。クロスオーバーに乗るオーナーたちに、これが響かないはずがない。

DIYでいける！

バンディエラ グリルガーニッシュの取り付け方法

表

裏



上は本体の表と裏。両面テープが施工済みというのが嬉しい。「72箇所のネジでクロームメッキを固定している」というのも分かる。左はカメラホルダー。こちらもダイヤデザインを採用。

BANDIERA GRILLE GARNISH for クラウン クロスオーバー

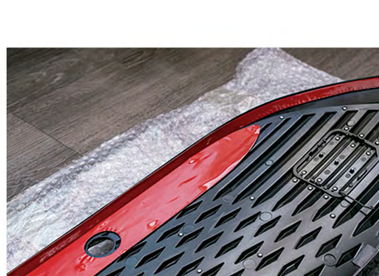
届いたその日にDIYで取り付けできる、というのもバンディエラの「グリルガーニッシュ」の大きな魅力と言える。このページでは、その取り付け工程を写真付きで詳しく解説しているが、実際は「元々こうしか付かない」という設計になっており、作業前に変に気負う必要はない。3つの純正部品を外して、その上からグリルガーニッシュを貼り付けるイメージ。誰でも簡単に取り付けられる。ただし、純正カメラの移設には不安を覚える方もいるだろう。車検に通るのかどうか。もちろん、車検に通る。移設前と移設後の表示画面を見比べても、全く違和感がないので安心して大丈夫だ。

1 まずは純正パーツを外す。ナンバープレート、ナンバープレートベース、牽引フックカバーの3点。ナンバープレートベースのネジは2箇所で、ドライバーを使用。牽引フックカバーはキズ防止のマスキングをし、内張り剥がしで外す。

2 次にボンネットを開け、ラジエターカバーを外す。固定しているクリップは全部で8箇所。そして、その隙間から手を突っ込み、純正カメラのコネクターを抜く。さらにドライバーを使って、ステーごと、純正カメラを取り外す。

3 パーツクリーナーで純正グリルを清掃。「バンディエラのグリルガーニッシュは両面テープで固定します。その大敵が油脂。油脂が残っていると両面テープが剥がれやすくなってしまうので、念入りに行ってください」と竹田サン。

4 ここから商品の取り付け過程に入る。必ず2人以上で行うこと。1人で無理して行うと大失敗の原因になる。まずは仮合わせ。商品下側のフックを純正グリルの下側に押し込む。カチッと音がするまで、奥に押し込むのが正解だ。



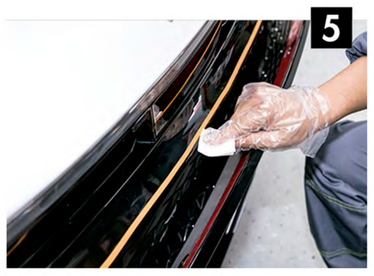
5 商品の上側の曲面に合わせて、マスキングで保護。面倒臭がらず、必ず行うこと。その後、純正グリルの両面テープ貼り付け位置に、同梱されている粘着促進剤を塗布。粘着促進剤は絶対にマスキングからはみ出さないように。

6 粘着促進剤を塗布し、1〜2分ほど乾燥させたら、商品裏の両面テープを剥がし、純正グリルに貼り付ける。先端を出して引き抜くようにすると、上手く貼り付けることができる。中の空気を抜くように強く圧着するのも忘れずに。

7 一番最初の工程で外した、純正のナンバープレートベースのネジを流用。プラスドライバーで固定する。これで本体の取り付けは完了。ちなみに、純正のナンバープレートベースと牽引フックカバーは使わない。保管しておこう。

8 次は純正カメラを移設する工程に入る。まずは純正カメラのステーを取り外す。次に純正カメラにバンディエラのカメラ固定キャップを装着。さらに、それをバンディエラのカメラホルダー（写真手前のパーツ）に取り付ける。

9 純正カメラを写真の位置（運転席側）に表から装着する。まずはフックを上部のルーバーに引っ掛かるように押し込む。そして、両面テープで固定。見た目のバランスを取るために、反対側にもダミーのホルダーを装着する。



10 純正カメラのコネクターを接続し、ラジエターカバーを戻せば、バンディエラのグリルガーニッシュの取り付けが完了となる。「難しい配線加工」や「大掛かりな作業」がないので、これならDIY初心者も自分たちで取り付けできる。